

○ グランプリ

脊振の自然を愛する会

所在地	福岡市
設立年月	平成24年6月
主な活動地域	脊振山系(脊振山～三瀬峠)
活動内容	早良区役所と協働で、脊振山系の安全登山や自然保護活動を展開している。 脊振山系の道標やレスキューポイントの設置、「脊振サミット」や「脊振山系山開き」などのイベント等を開催したことにより、登山の安全確保と地域の魅力発信に大きく貢献している。

脊振山系道標設置作業 70本設置  
2008～2013 (5年間)



西南学院大学ワンダーフォーゲル部OBOGと早良区役所との協働事業

脊振サミット  
未来へ残そう脊振の大自然

●脊振山系のもとで、各ボランティア団体が行っている環境活動  
●脊振山系の豊かな自然と環境保全意識の高揚を促す水辺清掃や水辺調査  
今回の脊振サミットでは、これらについての認識を高め、実践シラフ  
これからの活動に向けて、参加団体をはじめ、多くの人々との連  
携の実現を目指します。

2018 2/18 日 13:00～16:00  
会 場：福岡市早良区西新4丁目2-9-2  
西南学院大学1号キャンパス/西南コミュニティセンター・ホール

※グランプリ候補団体。1/31(土)の令和7年度ふくおか地域づくりフォーラムにおいて最終選考(プレゼンテーション審査を行い、選考委員とフォーラム参加団体の投票によりグランプリに選定。

○ 準グランプリ

一般社団法人 久留米健康くらぶ

所在地	久留米市
設立年月	平成24年1月
主な活動地域	久留米市及び久留米市近郊
活動内容	地域住民が主体となって認知症“予防”カフェを運営するとともに、「まちなかものわすれ相談室」を創設し、認知症発症者だけではなく、家族等の介護者が気軽に相談や交流をできる場を提供している。 このような活動により、認知症の早期発見・進行改善や介護費・医療費の負担軽減に大きく貢献している。

第2弾！10年の実践が語る“希望”

認知症は改善できる！

早期発見・進行防止に大切な事は？



「認知症カフェ」からの提言  
住民主体の運営で地域が変わる！

ご本人・介護者・専門家・運営者の“生”の声で学んだ“認知症は怖くない”

著者：一般社団法人久留米健康くらぶ

小冊子「認知症は改善できる」



認知症予防カフェでの様子

※グランプリ候補団体。1/31(土)の令和7年度ふくおか地域づくりフォーラムにおいて最終選考(プレゼンテーション審査を行い、選考委員とフォーラム参加団体の投票により準グランプリに選定。

○ 準グランプリ

Care Bloom

所在地	宗像市
設立年月	令和3年5月
主な活動地域	宗像市地島
活動内容	宗像市にある日本赤十字九州国際看護大学に在籍している看護学生の団体であり、志望者でチームを編成し、活動を行っている。 宗像市地島における防災・減災教室開催と防災グッズ寄贈や危険区域調査等を通じた自助・共助・互助の力向上により、住民の安全確保に大きく貢献している。

※グランプリ候補団体。1/31(土)の令和7年度ふくおか地域づくりフォーラムにおいて最終選考(プレゼンテーション審査を行い、選考委員とフォーラム参加団体の投票により準グランプリに選定。



2025年度

『どこに置く?どう使う?キレイで安心!  
もしものためのトイレの防災・減災教室』

地島小学校の児童



トイレ使用準備



テント収納



夜間のライト準備



断水時の手洗い

○ 活動賞

有富区	
所在地	みやま市
設立年月	平成29年6月(自治会の設立時期に関する記録は残っていなかったため、法人登録年月を記載)
主な活動地域	みやま市瀬高町大江、有富区
活動内容	平成29年6月に法人登録し、住民相互の連絡や美化、防犯活動を行う自治会として活動している。 全国初の「ZEB(ゼロエネルギービル)自治公民館」を建設し、それにより公民館がこどもからお年寄りまで気軽に、快適に、安全に集える施設となった。 さらに DX 化を推進し、スマートキー、オンライン自治会や配布文書の電子化、スマホ教室、オンライン診療などを行い、若い世代なども参加しやすい、参加したくなる環境を整え、自治会離れという課題の解決へ寄与するとともに、転入者を増加させることによって自治会の活性化を見込んでいる。

○ 活動賞

NPO法人リトルバンブー	
所在地	小竹町
設立年月	平成28年3月
主な活動地域	小竹町
活動内容	福岡県小竹町を拠点に、地域住民の助け合いによる子育て支援や高齢者の生活支援、駅的环境整備を行うことによりも地域住民が助け合う環境づくりや地域コミュニティ形成に寄与している。 主な活動は、ファミリーサポート事業、PLAYPARK(プレーパーク)の運営、高齢者向けスマホ講座、小竹駅美化活動、竹炭焙煎こたけ珈琲の販売で、住み慣れた地域で安心して子育てができ、高齢者が心豊かに暮らせるような環境の形成を目指している。

○ 活動賞

大野城市南地区コミュニティ運営協議会	
所在地	大野城市
設立年月	昭和46年4月
主な活動地域	大野城市南地区コミュニティ管内(7行政区)
活動内容	大野城市南地区が抱える高齢化率の高さと移動手段の確保の難しさに対し、住民主体で課題解決を行うことを目標として活動してる。 平成21年から運行を開始した高齢者移動支援「ふれあい号」や、毎週水曜日に4か所の講演を回り移動販売を行う「ふれあい市場」を通じて、高齢者の孤立防止と地域交流促進や住民主体の多世代交流に大きく貢献している。 また、まちのあるべき姿を実現するために住民で話し合って策定している「まちづくり計画」を5年毎に見直し、継続性をもって活動に取り組んでいる。

※グランプリ候補団体。1/31(土)の令和7年度ふくおか地域づくりフォーラムにおいて最終選考(プレゼンテーション審査)を実施。

○ 活動賞

九州栄養福祉大学・SDC サークル	
所在地	北九州市
設立年月	平成13年3月
主な活動地域	北九州市
活動内容	食や栄養を活用した健康的な生活習慣の改善を賢く学ぶことを目的として「スマートダイエットサークル」という名称で活動しており、九州栄養福祉大学の食物栄養学部の学生が中心となり、栄養学やデータサイエンスの知識を活かして、ダイエットに関するワークショップ、レシピ開発、食事指導、運動プログラムの企画などを行っている。 「サンタウォーク」など親子連れが参加できる「食」でつながるイベントを開催するといった活動により、北九州市の『課題を食で解決』することを目標としている。

○ 活動賞

ひびきのスターズ	
所在地	北九州市
設立年月	平成31年9月
主な活動地域	北九州市若松区ひびきの地区
活動内容	ボランティアによる指導者体制を構築し、子どもと指導者が主体となって活動するスポーツチームを設立することで、保護者の負担を軽減し、誰もが気軽にスポーツを始められる革新的な環境を創出した。 また、野球だけでなく、北九州市道路サポータとして花壇の草抜きや街のごみ拾い、月に一度の古紙回収活動など、地域課題に直接向き合う多彩なボランティア活動を展開し、世代を超えた交流と助け合いの輪を広げている。

○ 活動賞

よろずボランティアいちたすいち	
所在地	大牟田市
設立年月	平成14年12月
主な活動地域	大牟田市、熊本県益城町
活動内容	高齢者宅や益城町の復興住宅等へのサンタクロースに扮して行う慰問活動や、不登校の子ども達が店長として主体的に関わることで社会参加のきっかけを作る「いちたすいち子ども店長カレー屋活動」の実施等を通じて、多世代交流促進や多様な人々の社会参加・自信育成支援、地域コミュニティ形成に大きく貢献している。 また、クラウドファンディングで資金を募集して空き家を改装し、地域のよりどころとなる「いちたすはうす」の開設を目指している。

※グランプリ候補団体。1/31(土)の令和7年度ふくおか地域づくりフォーラムにおいて最終選考(プレゼンテーション審査)を実施。

○ 活動賞

ウェットランドフォーラム「和白干潟の子ども調査隊・ガタレンジャー」	
所在地	福岡市
設立年月	平成16年7月
主な活動地域	福岡市東区和白干潟、雁の巣干潟
活動内容	海の環境における干潟の重要性や恩恵を地域や行政、子ども達が理解し、拡げることが大事であると考え、和白地区での干潟保全の意識向上と「アサリの住める環境づくり」を目指し、地域住民、行政、学校などと連携して活動を行っている。 「和白干潟の子ども調査隊・ガタレンジャー」による生物調査と啓発情報発信や、周辺住民や親子を対象とした干潟の生き物観察会やその他イベント、地域の環境学習イベントのサポートなどを実施している。

○ 活動賞

NPO法人 住学協同機構 筑豊地域づくりセンター	
所在地	飯塚市
設立年月	平成4年10月
主な活動地域	飯塚市を中心とする筑豊地域一円
活動内容	NPO法人下で研究会の一つとして令和4年9月に設立された「写真家2.0/筑豊地域おこし写真研究会」では、写真を撮影・鑑賞するプロセスを通じて、意識的に自分の「まち」を見つめ直しふるさとの魅力を再発見するとともに、まちの課題解決のために能動的の行動できる、世代や職業を超えたコミュニティを創生することを目標としている。 行政や民間企業と協働で展示会の実施や、学校での総合学習の授業で写真の授業を行うことで、地域の魅力発信や、子どもたちの多様性への理解や地元愛の醸成に寄与している。

○ 活動賞

NPO法人 博多ミツバチプロジェクト	
所在地	福岡市
設立年月	令和3年6月
主な活動地域	福岡市及び近郊
活動内容	「都市型養蜂」という独自の視点からミツバチを「街の豊かさ」と「人々のつながり」の象徴と捉え、活動している団体。 ニホンミツバチの保護・養蜂を通じて生態系の保全に取り組むほか、環境教育プログラムや採蜜体験会などの活動を通じて、都市部で失われがちな自然との接点や、人と人とのつながりを取り戻すことを目指している。 また、福岡大学薬学部や理学部と連携し、ニホンミツバチの蜂蜜が持つ「優位なアミノ酸数値」を明らかにする研究も行っている。



○ 活動賞

筑紫女学園大学フィールドワーク研究会 Re’born不動産

所在地	太宰府市
設立年月	令和2年9月
主な活動地域	太宰府市太宰府天満宮門前六町(拠点は太宰府市五条)
活動内容	平成28年から教員と学生が連携して太宰府天満宮門前町の活性化に取り組む中で、太宰府市五条のアパートの活用に関して演習授業内で検討を行い、令和2年に学生団体として組織化した。 老朽化したアパートを活用し、大学生が活動するための拠点を DIY により学生自身の手で整備し活用するプロジェクト「Re,born不動産」の実施や、チャレンジショップ「Wine House やまつづら」運営により、太宰府天満宮門前町の活性化と地域課題解決に大きく貢献している。

※グランプリ候補団体。1/31(土)の令和7年度ふくおか地域づくりフォーラムにおいて最終選考(プレゼンテーション審査)を実施。